

令和4年度使用中学校教科用図書採択に係る 第2回選定委員会議事録

- 1 日 時 令和3年7月12日(月) 13:30~15:00
- 2 場 所 東広島市役所 北館3階 相談室2
- 3 出席委員 山田委員(委員長)、下野委員、竹原委員、木原委員、宮田委員、松原委員、田中委員
- 4 調査報告者 植田調査員(歴史)
- 5 事務局 木村指導課長、高橋指導主事、小野指導主事
- 6 議事要録

<司会>小野指導主事

(1) 開会行事

- ・委員長が、挨拶を行った。
- ・事務局が、配付資料の確認ならびに審議手順の提案を行った。
 - ①調査員代表から調査概要の報告を受け、質疑応答を行うこと。
 - ②その後、審議を行うこと。(調査研究報告に対し、その妥当性と客観性について審議し、選定委員会としての推薦教科用図書を決定する。)
 - ③推薦教科用図書が決定したら、推薦理由書の文案作成を行うこと。
 - ④審議結果を確認し、承認すること。
- ・事務局の提案について、山田委員長が全体に回り、この方法で進めることが了承された。

(2) 報告と質疑応答

中学校の1種目について調査員の代表から報告を受け、審議を行った。

①歴史の調査報告を植田調査員が行った。

() 報告書を拝見しますと、観点2については、東京書籍はICT活用についての記述がありました。自由社はどうだったのですか。

(植田) 東京書籍は、ページの最初に教科書の使い方等が示されており、そこに二次元バーコードについて書かれていました。同じように自由社にもそのようなページがあるかどうか確認しましたところ、調査員の中では確認できませんでした。

() 観点3についてですが、東京書籍には他の教科との関連性について調査員より報告がありました。自由社についてはどうだったのでしょうか。

(植田) こちらについても、他教科との関連があるかどうか探してみたのですが、調査員の中では確認できませんでした。

() 観点2のところ、探究的な活動についての記述があるのですが、端的に言うと、どのような違いがあるのか、もう少し教えてください。

(植田) 東京書籍については、小グループで話し合ったり、個人の意見をまとめたりする場面に使える思考ツールというものがありますが、自由社には思考ツールというものはございませんでした。また、まとめる表現活動については、自由社では最初の序章の第4節に「800字で人物伝記を書いてみよう①②」というのがあり、実際にそれが書かれた様子が書いてあります。それが他のページにもあるかどうかを見たのですが、他のページにはそれと同じような編集はございませんでした。また、章末でまとめる問題が設定されているのですが、そちらに対して、東京書籍については答えは載っていませんが、

自由社の方には例文とございますか、答えにつながる表記がありました。そのような違いがございました。

(3) 審議

【歴史】

- () 東京書籍が素晴らしいなと思います。思考ツールを使って中学生がグループワークをしやすいのではないかと思います。また、この思考ツールは社会科以外でも使えます。
- () 社会とか歴史とか苦手意識がある子も多いと思うので、学びやすさという点においては、東京書籍が丁寧に作られていると思います。
- () 最近、盛んに主体的・対話的で深い学びということが言われているので、それが実現できるような教科書を選ぶとしたら東京書籍だと思います。
- () 東京書籍は「二次元バーコードを使って、さらに調べを進めていきたい」という、そういうことができるように、まさに一人1台タブレットの時代に対応していると感じます。
- () 東京書籍は、すごくカラフルで、しかも、説明も詳しく分かりやすいですし、自分で調べてみようかな、まさに主体的な学びをしてみようかなと、そのような気持ちにさせてくれるような教科書だなと感じました。
- () 今回は、東京書籍の方が主体的な学びであるとか、他教科との関連であるとか、いろいろな工夫がなされていて、自由社の方はそういう点がちょっと東京書籍には及ばないかなと思います。そして、今後の教科書採択は非常に難しくなると思われま。東京書籍に出てきたような特徴的なところを他の教科書会社も入れてくるでしょうし、なかなか難しくなってくるのではないかなという印象があります。
- () 東京書籍はチャート式の参考書みたいで、一人で勉強するのも非常にやりやすい、とてもよくできた教科書だと思います。自由社の方も決して悪くはないのですが、伝統的な教科書の形をとっているものだと思います。先生によっては、チャート式のようになっているから使いにくいと言われる方もおられるので、どちらがよいのかというのはいろいろと検討すべき点ではあるのだと思うのですが、今回は東京書籍の方が探究を深めるという意味では優れているという点で、東京書籍の方が優位であると感じます。
- () 理由は様々ありますが、東京書籍の方がいいのかなと思います。東京書籍を第一、自由社を第二としたいと思います。
- () 同じく私も東京書籍を第一、自由社を第二としたいと思います。理由としましては、第2観点でも出てくる、主体的な学習ができるような教科書であること、第3観点で、他の教科との関連があること、第4観点でユニバーサルデザインがなされていることを考えると、東京書籍を第一としたいと思います。
- (山田) では、第一推薦が東京書籍、第二推薦が自由社ということでよろしいでしょうか。
- (全員) (よろしいの声)
- (山田) その他、何かご意見等はございませんでしょうか。
- (全員) (なしの声)
- (山田) それでは、以上で審議を終わります。

(4) 選定理由書の作成

選定理由書を作成した。

(5) 審議結果の確認

山田委員長が、審議結果並びに報告書について全体に諮り、了承された。

○7月29日(木)の教育委員会会議に山田委員長が出席し、決定した推薦内容について説明を行うということが了承された後、閉会した。